



国立研究開発法人 海洋研究開発機構

28 人事第 2186 号
平成 29 年 3 月 30 日

関係学部等の長 殿

国立研究開発法人海洋研究開発機構

人事部長

[公印省略]

国際ポストドクトラル研究員の公募について

平素より大変お世話になっております。

当機構では現在下記のとおり公募を行っております。

つきましては貴学にて周知をご検討いただきたく、関係公募情報をお送りいたします。

よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

| 公募部署 | 公募職種 | 募集人数 | 採用予定日 |
|-------------|---------------|-------|-----------------|
| JAMSTEC 各部署 | 国際ポストドクトラル研究員 | 4~5 名 | 平成 30 年 4 月 1 日 |

尚、詳細につきましては同封の「募集要項」もしくは当機構ホームページ「採用情報」をご覧ください。

採用情報：<http://www.jamstec.go.jp/recruit/details/jinji20170523.html> (日本語)

http://www.jamstec.go.jp/e/about/recruit/jinji_20170523.html (英語)

以上

問い合わせ先：

国立研究開発法人海洋研究開発機構

人事部 人事第 2 課 国際ポストドクトラル研究員採用担当

TEL: 046-867-9598

E-Mail: jinji2@jamstec.go.jp

カスタム検索

[トップページ](#) > [採用情報](#) > [募集要項](#)

採用情報

● 研究系 職員の公募情報

| | |
|------|--|
| 募集職種 | 国際ポストドクトラル研究員 4～5名 |
| 目的 | 海洋研究開発機構（JAMSTEC）では、博士号をもつ優れた若手研究者が、その研究課題をより卓越した業績へと発展させる事を目的とし、国際ポストドクトラル研究員制度を設けています。当該制度で採用されたポストドクトラル研究員には、スタートアップ資金および基礎研究費（1年目は1,000千円、2年目以降はその半額を予定）が支給されます。また在任中は、研究活動を行うにあたり、JAMSTECの研究設備等が利用できます。 |
| 募集内容 | 当該制度採用者は、JAMSTECにおいて、自立して自身が提案する研究課題を遂行することが求められます。在任中は、研究活動を行うにあたり、JAMSTECの研究設備等が利用できます。国際ポストドクトラル研究員にはそれぞれ担当のメンターが指名されます。メンターは、ポストドクトラル研究員が研究活動を円滑に遂行できるよう助言をし、年度ごとに進捗状況の評価をします。またポストドクトラル研究員は入国に関する手続きや住居を探す際など、JAMSTECからのサポートを受けることが出来ます。 <関連する専門分野> すべての自然科学・工学分野 ※海洋学、地球科学のバックグラウンド・実績がない方からの応募も歓迎いたします。 |
| 応募資格 | 【学歴】 博士号取得者（採用日までに取得見込みの者を含む）。 博士号を取得した年度の末日から採用までが5年以内である事。 （平成24年4月以降に学位を取得した者。） ※国籍・性別を問いません。 |
| 勤務地 | 国立研究開発法人海洋研究開発機構 横須賀本部 横浜研究所 高知コア研究所 むつ研究所 のいずれか |
| 採用形態 | 【募集人数】 4～5名 【雇用形態】 任期制職員 【勤務時間】 裁量労働制 【雇用期間】 平成30年4月1日～平成31年3月31日 1回の雇用期間を1事業年度とし、契約を更新することができるものとしますが、通算雇用継続期間は3事業年度（平成33年3月31日）を限度とします。 ※当機構の規定に基づき、雇用条件を決定いたします。 ※当機構の規定に基づき、事業年度中に65歳に達する時は当該事業年度末日をもって雇用契約を終了といたします。本期日については、今後変更する場合があります。 ※定年制職員への移行審査資格はありません。 ※雇用期間中に組織改編等行われた場合は、配属先が変わる場合があります。 |
| 給与 | 年俸制（1/12を月々支給） <参考年俸> 525万円 |

| | |
|---------|---|
| 福利厚生 | <p>※昇給、賞与および退職金はありません。</p> <p>(1)規定に基づき赴任旅費を支給します。 (2)通勤手当を支給します。 (3)各種保険(健康保険、厚生年金保険、企業年金基金、雇用保険、労災保険等)を完備しています。 (4)職員等の相互扶助及び福利厚生の増進を図るための共済会制度があります。 (5)民間賃貸住宅の社宅貸与制度は対象外となります。 (6)土日祝祭日・年末年始・年次有給休暇・特別有給休暇を休日及び休暇とします。介護休業・育児休業等の制度があります。</p> |
| 応募方法 | <p>【応募書類】(1)～(6)は英語にて作成のこと</p> <p>(1)履歴書 1通 ※様式自由 連絡先E-mailアドレス記載のこと。 ※応募者の専門性に関連する研究分野を下記から選択し、記載してください。(複数選択可)</p> <p>①固体地球系 ②地球環境系 ③生物科学系 ④情報・工学系 ⑤その他</p> <p>※履歴書には照会先2名の連絡先を記載のこと。照会先は、下記(8)の推薦者、また、当機構役職員及び招聘者以外としてください。</p> <p>(2) 博士論文の要約 1通 (A4 1枚程度) (3) これまでに行ってきた研究の要約 1通 (A4 1枚程度) (4)当機構において実施したい研究テーマについて 1通 (A4 6枚以内。必要に応じて図や表を加えてください。) (5)研究業績リスト 1通 ※論文リストは、レフェリー制のあるジャーナルとその他の研究、学術出版物に分けること。 (6)これまでに受けた競争的資金(科学研究費補助金、科学技術振興機構からの受託研究費など)のリスト 1通 ※該当が無い場合はリストに「該当無し」と記入の上提出すること。 (7)主要論文(2編以内)の別刷またはコピー (8)推薦書 1通 ※推薦者より直接下記人事担当宛郵送のこと。また、封筒に「応募者名」を明記のこと。 ※当機構役職員及び招聘者は推薦者にはなれませんのでご注意ください。</p> <p>【提出方法】 郵送による。 注) 郵送以外は受け付けません。</p> <p>【提出先】 〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町2-15 国立研究開発法人海洋研究開発機構 人事部 人事第2課 国際ポスドクトラル研究員採用担当 (封筒の表に「平成30年度 国際ポスドクトラル研究員 応募」と朱書きのこと)</p> <p>※公募締切後、書類選考を行い、書類選考通過者について英語による面接を行い、採用を決定します。面接は平成29年9月上旬を予定しています。 ※面接旅費は海外からの移動に限り、規定に基づき支給する場合があります。</p> |
| 応募締切 | <p>平成29年5月23日(火) 必着 ※ただし、応募者数が想定する人数に満たない場合は、募集期間を延長することがあります。</p> |
| お問い合わせ先 | <p>国立研究開発法人海洋研究開発機構 人事部 人事第2課 国際ポスドクトラル研究員採用担当 TEL 046-867-9598 FAX 046-867-9095 E-mail: jinji2[at]jamstec.go.jp ※E-mailによる問い合わせの際は、[at]をアットマークに変えて送信してください。また、件名に必ず「平成30年度 国際ポスドクトラル研究員 公募について」を入れてください。</p> |

| | |
|------|---|
| 注意事項 | <p>(1)提出書類は一切返却しません。</p> <p>(2)提出書類は厳正に管理します。また、お預かりする個人情報、採用選考並びに採用内定もしくは入社後の人事管理等の目的のみに使用し、他の目的では一切使用いたしません。</p> <p>(3)採用内定時に健康診断書を提出していただきます。</p> <p>(4)応募後に辞退される場合は、辞退届を提出してください。</p> <p>(5)上記各条件は、公募開始時点におけるものです。</p> <p>(6)日本語を母国語としない場合、業務時の使用言語は英語です。</p> |
| 付記 | <p>本公募では、男女平等の理念のもと、女性の社会進出を推進するという日本政府の方針に準拠して、多数の女性研究者の積極的な応募を期待するとともに、男性候補者と女性候補者の業績および人物評価が同等であった場合は、女性を優先して採用します。</p> |

JAMSTEC | 海洋研究開発機構 | ジャムステック

JAMSTECについて

組織・事業情報
 研究船・施設・設備
 調達情報 (3/29更新)
 調達情報メールマガジン
 知的財産情報
 採用情報 (3/23更新)
 賛助会ホームページ

情報公開
 個人情報保護
 関連国際プロジェクト
 過去の主なプロジェクト
 リンク集
 各種方針・規準・ポリシー
 各種取り組み

研究・開発体制

プレスリリース
 ミュージアム
 JAMSTEC画像ギャラリー
 データベース
 JAMSTEC研究者総覧
 ジャムステック・キッズ

広報活動

イベント情報
 見学のご案内
 教育活動
 刊行物
 JAMSTECグッズ
 SNSアカウント

各種お問い合わせ

拠点・交通アクセス
 サイトマップ
 サイトポリシー
 JAMSTECチャンネル
 on YouTube

©JAMSTEC, www.jamstec.go.jp